

INFORMATION



～これからの支部啓発事業実施予定～

北方領土返還要求中標津住民大会

「第67回なかしべつ夏まつり」の初日に夏まつり会場において、北方領土返還要求住民大会を4年ぶりに開催する予定です。今年は恒例の「北方領土ビンゴ大会」を盛大に行い、地域住民の皆さんと相互理解を深めていきます。また、会場内には署名コーナーを設置し、感染対策を講じた署名活動を行いますのでご協力よろしくをお願いします。



北方領土返還要求パネル展の開催



北方領土返還要求強調月間啓発事業として、北方領土パネル展を中標津総合文化会館(しるべつ) 町民ホールで8月14日まで展示します。懐かしい写真パネルの展示と署名簿を設置して皆さんのご来館をお待ちしています。



北方領土問題地域学習会の開催

毎年、道内の各支部持ち回りで開催している千島連盟主催の「北方領土問題地域学習会」が、本年度は別海町支部と中標津支部合同で、10月21日に別海町で開催する予定です。参加希望の方は支部事務局(☎73-3111 内線525)までご連絡下さい。北方領土問題について学べる貴重な機会となりますので皆さんのご参加よろしくをお願いします。

一般の方も参加できます!



会員の皆様へ

●会員募集中!

支部会員が年々減少しています。会員の方々のご家族や知人等で千島連盟に加入されていない元島民や後継者(子・孫)の方々に是非入会をお勧め下さい。

●会費納入のお願い

千島連盟は皆さんの会費で運営されています。未納の方は早めに納入頂きますようお願いいたします。(本部会費は年額2,000円です)

編集後記

ロシアによるウクライナ軍事侵略によりロシアと日本の関係は、戦後最悪の状態となりました。北方墓参も今年で4年実施されず、再開の目途すらたっていません。元島民の方も高齢となり、返還運動は後継者にバトンが引き継がれています。領土問題を風化させないためにも、領土返還を諦めない姿勢をロシア側に見せることが必要です。元島民の方が元気なうちに北方墓参の早期再開を心から願うものです。(事務局長 松本)

千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部通信



Vol.15

発行日/令和5年7月1日
題字/宮脇 田鶴子

発行者/千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地 中標津町役場内
TEL(0153)73-3111(内線525)・FAX(0153)73-5333



四島還せ! 声出し合って 動く今

「令和4年度 標語 最優秀賞」



中標津支部長
館下 雅志

一念発起 北方領土返還運動

今年も千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部の通常総会を無事終えることが出来ました。コロナウイルス感染症が2類から5類と移行され、北方領土返還要求運動が普通に実施でき大変うれしく思います。我々の団体がロシア最高検察省に「望ましくない団体」に指名され、北方墓参・ビザ無し訪問・自由訪問が一時的に停止され、元島民の故郷・北方四島に訪れることが叶わなくなった今こそ、北方領土を返せと全国民に訴え、啓発活動を強化しなければなりません。

昨年、私はコロナの感染者となり北方領土返還要求中標津住民大会の中止、本部事業の洋上慰霊の参加も叶わず、多くの皆さんにご迷惑をおかけし誠に申し訳なくお詫びを申し上げる次第でございます。本年度はコロナや健康に注意して事業運営に邁進して参りますのでよろしくをお願いします。

本年の公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟の令和5年通常総会では役員改選が行われ、元島民3名、後継者16名の理事となりました。今後、後継者が担う役割は多く、ロシアとの交渉が一日も早く実現して北方領土が返還できる活動を推進することを、改めて感取した本部総会でありました。

令和5年度 千島連盟中標津支部通常総会終わる!



令和5年度千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部通常総会が4月14日(金)中標津経済センターにおいて開催されました。

総会には、河田千島連盟副理事長をはじめ7名の方を来賓に迎え、会員38名の出席により、昨年度の事業報告及び決算報告、本年度の事業計画及び収支予算案並びに本年度に計画する啓発活動推進事業等、上程された議案全てが全会一致で承認されました。

館下支部長は挨拶で、自由訪問や北方墓参が出来なくなっている現状を踏まえ、「高齢のため残された時間が多くはない元島民にとって痛恨の極み。一日も早く故郷での墓参りが出来るよう要望していく」と力を込めた。

本年度の役員改選で、館下支部長の再任とご逝去された内藤理事に替り新たに島民二世の篠田卓さんが理事に選任されました。

北方領土の返還に向けては大変厳しい状況が続いていますが、様々な工夫を凝らした啓発活動を展開してまいりますので会員皆さんの協力を宜しくをお願いします。



令和5年度(公社)千島連盟通常総会終了!



5月29日(月)、札幌市内で道内外の元島民ら約110人の出席により通常総会が開催されました。総会に先立ち、長年にわたり返還運動に尽力された中標津支部理事の糸氏セキさんを含む19名の方々に千島連盟の協理事長より功労者表彰が行われました。

本年度の総会で、8年間理事長を務めた協紀美夫氏(羅臼町)が退任し、新理事長に松本侑三氏(札幌市)、副理事長に元島民二世の野淵龍彦氏(根室市)と鈴木日出男氏(羅臼町)が選任されました。



松本新理事長は択捉島留別村出身で、選任後にあいさつで「返還要求運動に協力、賛同してくれる仲間をたくさん作り、一つの力として政府に強い外交を求めたい」と強調した。また、退任する協氏は、総会の最後に「この8年間で領土問題は後退してしまった。この難局を新体制で乗り越えてほしい」と述べられました。総会に上程された議案すべてが承認され、四島の早期一括返還実現や墓参をはじめビザなし渡航の再開を政府に求める決議が採択された。

令和5年度 支部青年部定期総会の開催!

6月16日(金)、レストラン河亭において会員18名の出席により青年部の定期総会が開催されました。

田中晴樹青年部長は挨拶で、ロシア最高検察庁が千島連盟を望ましくない団体に指定したことに触れ「返還運動は戦後最悪の状況だが、ここで歩みを止めることなく、我々後継者が元島民の思いを汲んで後世に伝えるべく積極的に啓発活動を展開していきたい」と述べた。

総会では、「金八寄席事業」の本年度実施予定のほか上程した議案全てを了承。役員改選では、田中青年部長の再任と新理事に島民三世の村元雄一氏と工藤光司氏を選任し、役員12名体制での運営を承認。



「北方領土問題現地青年の集い」根室市で開催!

(公社)千島連盟主催の令和5年度「北方領土問題現地青年の集い」が5月20日(土)、根室市内で開催され、道内外の後継者56人が参加し、領土返還運動を若い世代に引き継ぐための取り組み方などについて学んだ。講師として、根室振興局の元島民三世の山本里乃さんが登壇。振興局北方領土対策課では「北方領土プロジェクトN」と題した高校生に焦点を当てた取り組みを推進しており、根室管内の高校生が啓発用のデジタルサイネージ(電子掲示板)の映像制作に取り組んだ事例などを説明し、「高校生に興味を持ってもらえるような切り口を用意することが大事だと感じた」と話されていました。

同日、千島歯舞諸島居住者連盟根室管内後継者連絡協議会の総会も開催された。



令和5年上半期啓発事業報告

第12回「北方領土寄席 in なかしべつ」開催



青年部単独事業として3年ぶりに「北方領土寄席 in なかしべつ」と題して、後継者のメッセージ&金八寄席を1月13日に総合文化会館で実施。

今年の寄席啓発事業は三部構成とし、第一部で千島連盟後継者活動委員会が昨年制作した「元島民後継者のメッセージ~北方四島への思い~」を上映。第二部はお馴染みの「三遊亭金八落語」を上演、第三部では来場者お待ちかねの「お楽しみ抽選会」を実施し、和やかな雰囲気の中北方領土返還要求に向けた啓発活動ができました。



「なかしべつ冬まつり」街頭署名活動の実施



「北方領土の日」特別啓発事業として、第48回なかしべつ冬まつり会場で署名啓発活動を行いました。署名コーナーの横では、根室管内後継連が制作した「北方領土輪投げゲーム」を実施。

会場にはマスコットキャラクター「エリカちゃん」も登場し、会場内は賑やかな啓発活動が展開されました。



「北方領土の日」根室管内住民大会の開催

2月7日の「北方領土の日」に根室市で「根室管内住民大会」が3年ぶりに地域の関係者一同が集まり開催された。コロナ感染症の影響もあって大会は、中学生の弁論大会やアトラクションは実施されなかったが、ウクライナ問題以降も元島民の故郷への思いは揺るがないことを全国に発信できた意義は大きく、参加した元島民関係者ら850人がそれぞれの思いを胸に「北方領土を返せ」とシュプレヒコールを上げ、返還運動の拡大を誓いあった。

また、東京都では「北方領土返還要求全国大会」が同日に開催され、中標津支部から2人の元島民後継者が参加し、今後の返還運動を担っていく後継者の育成強化が必要とお話されていました。



「北方領土クイズ大会」の実施

「北方領土の日」特別啓発期間における町民への啓発活動として、「北方領土クイズ大会」を初めて実施しました。

領土クイズ10問の回答を葉書で応募していただき、抽選で30人の方に「乳製品詰合せ」をプレゼント! 当初の予想を上回る243名の応募があり、大変有意義な啓発活動となりました。

